

●●
特集

リスク管理

FRONT ESSAY FRONT ESSAY



リスク管理の講習会に参加して

昨年の11月1～3日に亀田メディカルセンター（千葉県鴨川市）で、理学療法が関わる急性期から訪問までのリスク管理を勉強する目的で、講習会に参加させていただきました。

亀田メディカルセンターは、亀田総合病院を中心とした急性期・回復期・維持期（合計約1000床）をもつ、大規模な医療サービス施設です。第三次救急指定病院（一刻をあらそう重篤な救急患者に対応できる病院）であり、ドクターヘリが併設されています。

講習会の内容としては、注意すべき症状や診療録からの情報収集などの講義やワークショップ、基礎的救命法の実技講習、シミュレーションセンターでの臨場感ある演習があり、より理解を深めることができました。

なぜ理学療法士がリスク管理の講習会に参加するのかわかる方もいらっしゃるかも知れません。リハビリテーションの対象者には高齢者や術後で全身状態が不安定な患者さまが多く、リハビリ中に急変を起こすことは珍しいことではありません。

2013 No.1

島田病院医療安全管理委員会が送る
患者さまと職員の安全に関するニュース

●●

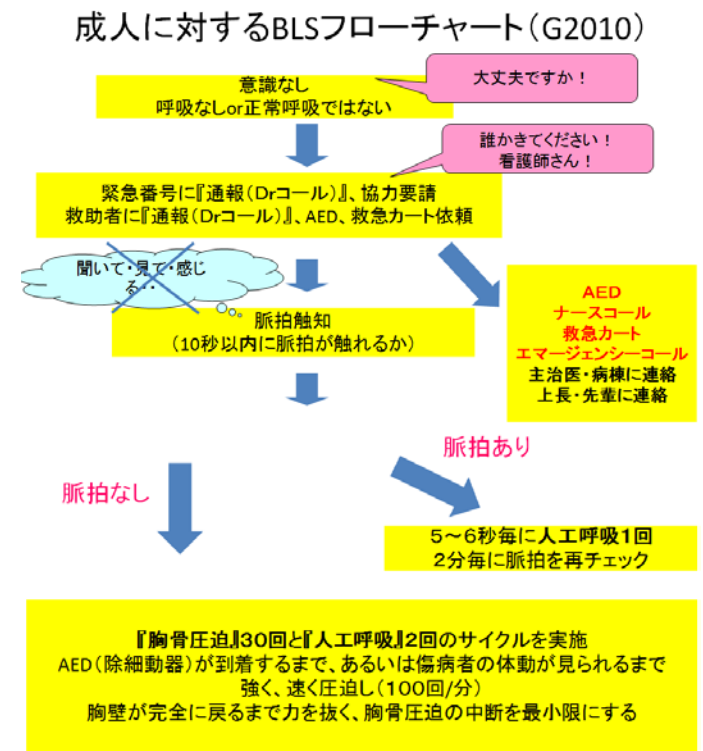
FRONT ESSAY

リスク管理の講習会に参加して

当院でもリハ中の気分不良・意識消失は年間10件以上報告されており、セラピストには全身状態を常に把握することが求められます。

2月の医療安全研修会では講習会の報告としてBLSの実技講習を行いました。

※BLSとは、Basic Life Support（一次救命処置）の略称です。一次救命処置とは、急に倒れたり、窒息を起こした人に対して、その場に居合わせた人が、救急隊や医師に引継ぐまでの間に行う応急手当のことです。専門的な器具や、薬品などを使う必要がないので、正しい知識と適切な処置の仕方さえ知っていれば、誰でも行うことができます。



リハビリテーション部 岡田由佳子

身近で起こるソーシャルメディアのセキュリティ事故
～Twitter・SNSから情報漏洩！？

Twitterからの情報漏洩!?

(ケース1)

大手菓子メーカーの人気商品について、未発表の新作パッケージ写真とCMに起用予定というアイドルの名前がTwitterに書き込まれて話題になりました。書き込んだのは女子高生で、菓子メーカーの取引先に勤める父親が試作品を持ち帰り家族に話したところ、娘が悪気なくTwitterに流出した模様です。Twitterに書き込んだ本人にとっては「たまたま知ることができた貴重な情報」を皆に伝えようとした「善意」からの行動でしょうが、結果として、企業のイメージや商品・マーケティング戦略に損害を与えてしまいました。

(ケース2)

スポーツ用品メーカーに勤務する新入社員が、来店したプロサッカー選手とその妻に対する中傷をTwitterに書き込み、インターネット掲示板で批判的となりました。この社員はTwitterのほかにも、mixi、FacebookなどのSNSや、プロフィールサイトなど、あちこちに同じ名前を書き込みをしていたため、インターネット掲示板でそれらの情報をつなぎ合わされ、本名や勤務店舗・出身大学などが特定されました。結果的に、このメーカーは同日のうちにホームページで謝罪。新入社員本人は、わずか2ヵ月で退職することとなりました。いずれも影響を深く考えず、気軽に書き込んだ結果、起きてしまった事件です。

TwitterやSNSはなぜ怖い？

TwitterやSNSは、普段、自分の友人・知人とのやりとりが多いため、「自分の友人・知人向けに“ここの話”を書き込んでいる」と誤解しがちです。しかし実際には、大部分の人が、自分の書き込みを全世界に公開する設定になっています。そして、ユーザー同士の交友関係を表現する機能があるので、自分では完全に匿名のつもりで書き込んでいても、実は、その人の交友関係を見ることで、勤務先や出身大学などを容易に推測可能です。

また、たとえ自分自身がTwitterやSNSを使っていなかったとしても、他人に書き込まれてしまう恐れが

あります。

例えば、あなたが職場で部下・後輩の失敗を注意しているときに、別の従業員がイタズラ心でTwitterに「今日も職場でAさんがパワハラされている。かわいそう」などと書き込まれたら、どうなるでしょうか？ たまたま「パワハラ」について検索した人が、その書き込みを見つけた場合、従業員のプロフィールや、過去の書き込み内容・交友関係などを見て勤務先を推測できる確率は高いでしょう。そして正義感にかられた誰かが、インターネット掲示板に「〇〇会社では、パワハラが日常的に行われている！」と謂われのない告発を書き込んでしまうかもしれないのです。

どうすれば被害を避けられるのか？

では、どうすれば情報を漏洩したり、不祥事を引き起こすことを防げるのでしょうか。

まず第一に、あなた自身が、自分の書き込みに気をつけることです。「インターネットを匿名の世界だ」と考えて公序良俗に反する書き込みをすることは避け、普段の生活と同じく、責任ある行動や発言を心がけましょう。

第二に、あなたの同僚や部下・後輩は大丈夫でしょうか。もしもあなた自身がTwitterやSNSを使っていなかったとしても、これらを使っている人に対しても、インターネットは匿名と考えるべきでないことを十分に伝えた上で、軽はずみに職場の情報を書き込んだり、倫理的・社会的に不適切な発言をしたりしないよう、注意を呼びかけましょう。

診療情報管理室 林 辰三

プランナー:リハビリテーション部

次号は 9月です！

発行人 医療安全管理委員会 編集担当 森下 幸子
発行所 医療法人永広会島田病院内